



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 27 | Issue 4 | June 2024



今号では...

- ▶02...夏休み中の継続的な学習
- ▶05...KPASS合唱フェスティバル
- ▶07...さくらメダル読書感想文コンテスト
- ▶08...MUN(模擬国連)クラブ報告
- ▶10...夏におすすめなアプリ
- ▶13...The Power of Voice(声の力)
- ▶14...KIST教師が科学論文を共著
- ▶17...なぜ地球はすごいのか?
- ▶20...DP ESS G11クラス校外学習
- ▶21...CTHからのおしらせ
- ▶22...2024年度卒業生
- ▶31...New Building Opening Ceremony

“未来を予測する
最良の方法は、
未来を創ることだ。”
—Abraham Lincoln

学校長より



学校の枠を超えた活躍、才能を称える

今年度も素晴らしい一年の終わりを迎えようとしているケイ・インターナショナルスクール東京ですが、この機会に、生徒やスタッフの教室外での素晴らしい才能や活躍、功績を振り返りたいと思います。私たちは、学校コミュニティの皆様が情熱を持って真剣に追求しているスキルや趣味にいつも感銘を受けています。

楽器の習得やスポーツへの参加、芸術的創作そして料理など、学校の外で達成されていること一つ一つが、生徒とスタッフの熱意と決意を反映しています。スケートボードのキックフリップの着地、難易度の高いハイキングの完走、社会奉仕プロジェクトへの参加など、どのような功績も、学校コミュニティにおける皆様の豊かな人間性を証明しているのです。

KISTでは、学業の優秀さだけでなく、人生のあらゆる側面において、学習と探求への意欲を育むことも大切だと考えています。安全かつ協力的な環境の中で、質の高い教育を提供するという私たちの使命は、学力的にも人格的にも優れた有能な若者の育成によって補完されます。

この夏休みは、誰もが自分の熱中していることや趣味、スキルに時間を費やす絶好の機会です。もし、写真や動画等をお持ちで、お子様が達成されたことをKISTvを通して学校コミュニティと共有されたい方がいましたら、担任またはアドバイザーの先生に是非お知らせください。皆様の投稿が、学校コミュニティに良い影響を与えてくれることでしょう。

今年度は終わりを迎えようとしていますが、私たちはこれからも、多様な才能と功績を受け入れ、学校内だけではなく、より広い世界に意義ある貢献をしていきましょう。皆様が、ケイ・インターナショナルスクール東京の、活気に満ちた温かいコミュニティの一員であることに感謝します。

探検、成長、そして新たな体験に満ちた、ゆっくりとした楽しい夏休みをお過ごしください。



Warm regards,

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School
Principal



重要な日程



2024年6月

- 11 (G5) Completion ceremony (@KIST) (*Evening)
- 12 (W) Last day of school for students (Half day for students)
- 12 (K1-G11) Semester 2 reports issued
- 13 (K1-G3) After care not available on this day
- 13-28 Office open
- 15 KIST community festival (New building opening celebration)
- 17-28 Summer program session 1

2024年7月

- 1-28 School closed
- 29-Aug 9 Summer program session 2

2024年8月

- 15 (K1/K2/K3) [P] Parent welcome night
- 19 First day of school for all students
- 19 (K2-G3) After care begins this week
- 19 (G6-G10) Mathematics diagnostic assessments (*Afternoon)
- 19-21 (G12) DP start-of-year exams
- 20-22 (G6-G8) GL English diagnostic assessments
- 21 (G1-G5) [P] Parent welcome night
- 23 (G6-G12) [P] Parent welcome night



夏休みにおすすめの予習復習用ワークブック



今年度も間もなく終わり、待ちに待った夏休みがやってきます。しかし、夏休みは約8週間もあるため、学力の低下に注意を払う必要があります。これは、生徒たちが構造化された学習環境から長期間離れることで起こる学力の後退を指します。

このような状況を解消するため、多くのご家庭では、毎日少しずつ前学年度の内容を復習しているようです。毎日一貫して集中的に勉強に取り組むことで、お子さまのスキルを維持し、さらに向上させることができます。これにより、本格的に勉強に取り組む準備が整った状態で8月の新学年度を迎えることができます。

生徒の継続的な学習をサポートするために、算数・数学と英語の勉強に毎日30分ずつ充てることを推奨しています。これを促進するために、英国の出版社CGPが発行するおすすめのワークブックのリストをまとめました。

以下、おすすめのCGPワークブックです。ISBNを入力することでAmazon Japanから購入可能となっています。もしくは、以下のリンクから直接CGPのウェブサイトで購入することもできます。

Web <https://www.cgpbooks.co.uk/>

毎日たった1時間だけでも予習復習の時間を設けることで、生徒たちは学習の勢いを維持し、自信を持って新学期を迎えることができます。

生徒たちが学習意欲を高め、学業に励むことができるよう、日頃よりサポートをしてくださり、心より感謝いたします。皆さまの夏休みが、楽しく、リラックスした、深い学びのある素晴らしい夏になりますように。

Kevin Yoshihara
Head of School/Elementary School
Principal



Grade	English	Math
New K3	KS1 English Year 1 Reading Comprehension ISBN: 9781782947585	
New G1	KS1 English Phonics Buster ISBN: 9781789080216	KS1 Maths Year 1 Targeted Question Book ISBN: 9781789089165
		KS1 Maths Workout Year 1 ISBN: 9781841460826
New G2	Year 2 Grammar, Punctuation & Spelling ISBN: 9781782941927	KS1 Maths Year 2 Targeted Question Book ISBN: 9781789089172
	Year 2 Reading Comprehension ISBN: 9781782947592	KS1 Maths Mental Workout Year 2 ISBN: 9781841460840
New G3	Year 3 Grammar, Punctuation & Spelling ISBN: 9781782941316	KS2 Maths Year 3 Targeted Question Book ISBN: 9781847622112
	Year 3 Reading Comprehension ISBN: 9781782944485	KS2 Maths Mental Workout Year 3 ISBN: 9781841460741
New G4	Year 4 Grammar, Punctuation & Spelling ISBN: 9781782941323	KS2 Maths Year 4 Targeted Question Book ISBN: 9781847622129
	Year 4 Reading Comprehension ISBN: 9781782944492	KS2 Maths Mental Workout Year 4 ISBN: 9781841460734
New G5	Year 5 Grammar, Punctuation & Spelling ISBN: 9781782941330	KS2 Maths Year 5 Targeted Question Book ISBN: 9781847622136
	Year 5 Reading Comprehension ISBN: 9781782944508	KS2 Maths Mental Workout Year 5 ISBN: 9781841460727
New G6	Year 6 Grammar, Punctuation & Spelling ISBN: 9781782941347	KS2 Maths Year 6 Targeted Question Book ISBN: 9781847622143
	Year 6 Reading Comprehension ISBN: 9781782944515	KS2 Maths Mental Workout Year 6 ISBN: 9781841460710

PYPニュース

夏休み中の継続的な学習

もうすぐ夏休みです。多くのエレメンタリーの生徒たちは、学校生活から解放されることを心待ちにしています。しかし、長期休暇こそ、これまでとは異なる、自主的・探求的で充実した学習の旅の機会を提供してくれるのです。夏休みを利用して継続的に学習することは、エレメンタリーの生徒たちにとって非常に重要です。これにはいくつかの理由があります。

まず、夏休み明けの「サマースライド」と呼ばれる学力低下が非常に懸念されます。調査によると、生徒は夏の間に最大2ヶ月分の算数・数学および読解力を失う可能性があるそうです。継続的な学習の中で生徒たちの脳を常に活発にすることで、この学力低下を防ぐことができます。

次に、夏休みの学習は、教室の枠を超えた学習意欲を高めることができます。自由な時間が増えることで、生徒たちは読書、博物館訪問、科学実験や新しい趣味を見つけたりなど、自分の興味を探究することができるのです。これは学力を高めるだけでなく、好奇心、創造力、批判的思考を育みます。

さらに、夏休み中に継続的に学習することで、学年間のギャップを埋めることができ、8月に生徒が教室に戻ったときにスムーズに移行することができます。これにより、休暇中に忘れてしまった内容を再度教えるために教師が貴重な時間を費やす必要がなくなり、代わりに新しい概念を深く掘

り下げることができます。

結論として、長い夏休みは、エレメンタリーの生徒たちが継続的な学習の旅に出る理想的な時期です。好奇心を持ち、積極的に学習に取り組むことで、サマースライドを防ぐだけでなく、生涯にわたって学び続ける意欲を育むことができます。

2023年6月号の*The Comet*では、PYPアカデミックハンドブックにある「Six Traits of Writing (書くことの6つの特徴)」と「日本語クラスの文章評価基準」に注目しました。夏休みのライティング・ジャーナルをよりアカデミックなものにするために、これらのリソースを是非ご活用ください。お子様と一緒に取り組み、各学年の期待値を理解し、文章力をどう向上させていくかのアドバイスをする良い機会となっています(このコラムの下に前回の記事を載せました)。また、算数・数学と英語のワークブックについては、本号に掲載されているDr. Yoshiharaの「夏休みにおすすめの予習復習用ワークブック」をご参照ください。



夏休み中のお子様の学習のサポートについてご質問がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator



ご家庭でお子さんをサポートするための「書くことの6つの特徴」の活用法

今回の*The Comet*では、KISTのウェブサイトのCommunity portalに追加された新しいドキュメント、[KIST PYP Academic Handbook](#)にご注目いただきたいと思えます。

長い夏休みを迎えるにあたり、多くの方がお子さんのライティングについてどうサポートしたらよいかを考えていらっしゃるかもしれません。短編小説を書く、友人や親戚に手紙を書く、日記をつける、といったアドバイスを受けたことがある人もいらっしゃるかもしれません。それはそれでいいのですが、子どもの文章にどんなことを期待したらいいのかわからないかもしれません。

KISTでは、ライティング力を評価し、向上させるために広く使われているフレームワークである「書くことの6つの特徴(プラス1)」に基づいて指導していることはご存知でしょう。これは、ライティングの様々な側面を評価し、強化するための総合的な方法を提供するものです。各特徴を簡単にご紹介しましょう。

- 1. アイデア:** 文章の内容や主要なメッセージに重点を置く特性です。表現されたアイデアのわかりやすさ、オリジナリティ、深さを評価するものである。
- 2. 構成:** 構成とは、文章の構成と一貫性のことです。よく構成された文章は、明確な序章、本文の部分、結論があり、アイデア間の切り替えもスムーズです。
- 3. 声:** 声とは、書き手のユニークなスタイルや個性を表します。語調や言葉の選び方、読み手に与える全体的な印象などを評価します。

- 4. 適切な語彙の選択:** この特性は、正確で適切な語彙を選択することに重点を置いています。読み手を惹きつけ、メッセージを効果的に伝えるために、生き生きとした表現で語ることを大切にしています。
- 5. 文章の流暢さ:** 章の流暢さは、文章のリズムと流れを表します。文型の豊富さ、長文と短文のバランス、全体的な読みやすさなどを評価します。
- 6. 規則:** 文法、句読点、スペルなどを指します。この特性により、文章が標準的な言語使用規則に従い、読み手を混乱させるような誤りがないことが保証されます。

プラス1の特性は「プレゼンテーション」で、文章の視覚的な要素を含めます。書式、体裁、全体的な見栄えなどが評価されます。

これらの特徴に重点を置くことで、書き手は自分の強みと改善点を明確にすることができ、より効果的で洗練された文章を書くことができるようになります。書くことの6つの特徴(プラス1)フレームワークは、あらゆるレベルの書き手がスキルを高め、高品質の文章を生み出すための貴重なガイドとなります。

言うまでもなく、学年によって何に気をつけるべきかは大きく異なることがあります。KISTでは、イギリスの教育課程の目標値と書くことの6つの特徴を組み合わせた独自のライティング評価指標を考案しました。

次のページに続く

前ページの続き

お子さんの学習をサポートするために、これらの基準書は KIST PYP Academic Handbookの18~65ページに記載されています。18~45ページにホームルームの文章評価基準、46~65ページに日本語クラスの文章評価基準が記載されています。ホームルームでは、2つあるG1を除き、各学年で3つの評価基準(各ライティング評価に1つずつ)があり、それぞれの「評価の重点」がSAMEレベル分けをまたいで書かれていることがわかります。(本ページ下部の画像の例を参照)

お子さんをご家庭でサポートする際には、これらの評価基準は年度末の期待値であることを理解し、適切な評価基準を選択することが重要です。この夏は、お子さんが終了したばかりのクラスの評価表を使うことをお勧めします。

年度の途中で評価基準を変更することがありますが、ごくわずかであり、毎年夏に最新版がアップロードされることになっています。これらの資料は、お子さん

んのライティングをサポートする上で役に立つはずですが、楽しみながら取り組めるように工夫してあげてください。お子さんがある程度大きくなったら、お子さん自身が自分で評価をするように促し、その後、お子さんの考えについて話し合い、達成可能な目標を設定するのがよいでしょう。

This rubric has been developed from the Pearson Edmentum rubric and has been aligned with the KIST writing curriculum and 3a Traits of Writing. This 2017 & 2018 rubric aligns with the SAME system on KIST report cards.

K International School Tokyo Writing Assessment 3 Rubric: (G3)							
1 Starting		2 Approaching		3 Meeting		4 Exceeding	
IDEAS							
AF1 → Does not reflect a main idea or purpose; includes content that is off topic.		AF2 → States or implies a main idea, but it is unclear, unfocused, inaccurate, and/or underdeveloped.		AF3 → Contains a clear, focused, and accurate main idea with adequate development and/or support.		AF4 → Writing is organized with clear control of paragraphs or sections that support coherent thought.	
SENTENCE FLUENCY							
AF1 → Structures sentences incorrectly so reader has to reread place several times and still has difficulty reading aloud without pausing or substituting phrases.		AF2 → Uses sentences that are technically correct but awkward and/or flow smoothly, sounds mechanical when read aloud.		AF3 → Has varied sentences that flow smoothly; reads to be pleasant or business like, though may still be mechanical in places; is easy to read aloud.		AF4 → Incorporates some sentences that are rhythmic and flowing, using a variety of correctly structured sentence types; flows well when read aloud.	
ORGANIZATION							
DON'T SCORE ON THE RUBRIC		AF2 → Limited evidence of organization; effort is required by the reader for appropriate structure which includes a clear, somewhat chronological sequence.		AF3 → Single and separated paragraphs are sequenced or grouped but may not be consistent in form (an appropriate structure which includes a clear, somewhat chronological sequence).		AF4 → Evidence of most advanced sequential language, such as, first, then, after that.	
WORD CHOICE							
DON'T SCORE ON THE RUBRIC		AF2 → In information texts, places, people, events, items, topics etc. are not described in detail.		AF3 → In information texts, places, people, events, items, topics etc. are described with specific detail, although this may not be consistently maintained throughout.		AF4 → Word choice is deliberate and mostly accurate.	
VOICE							
DON'T SCORE ON THE RUBRIC		AF2 → Writing is partially linked to the task (a news report).		AF3 → Register is mostly appropriate to the task (formal and informative) and is mostly maintained.		AF4 → Writing is mostly linked to the task (a news report) with emerging awareness of audience.	

子どもの夏休みを充実されるアイデア

夏休みは、親にとってはちょっと大変だったりします。荷造りをしたり、ホテルや飛行機の予約を取ったり、子供たちが大好きな叔父や叔母に会いに行ったり...。そんな中で、子供たちの興味や想像力を刺激するようなものを用意する余裕はあまりないと思います。そこで私は、2015年6月号の *The Comet* から、追加の荷造りや隠れた費用もかからない、夏休み中のアイデアについて書いた記事を引っ張り出してきました。この記事の内容は「復習」が中心となっています。既に子供たちの記憶の片隅にあるものですので、是非ご一読ください。保護者の皆様にとって、何かヒントになれば幸いです。

今学年度もあと数日で終わりとなる今、保護者と生徒の皆さんも、夏休みの計画を立てるのに忙しいことと思います。生徒の皆さんは異国情緒漂う場所で泳いだり、山登りをしたり、家でごろごろしながらネットサーフィンをするを夢見ているのではないのでしょうか。それに対して、保護者の皆様は、より学問的な方向性での計画を立てられているのではないのでしょうか。保護者の皆様がしばしば直面する問題の一つに、学年度中に生徒達が努力し、達成したレベルの維持があります。多くの場合、各ご家庭では、伝統的なカリキュラムとのギャップを埋めるために昔の教科書や、インターネット教材をつかったり、プロの家庭教師をお願いしたりするかと思います。出来ることは数多くありますが、お忙しいご家族にとっては資料も、場所も、機会もあまりに少ないのではないのでしょうか。

IBカリキュラムは探求を通して子供たちに必要且つ実生活に関連付けた学習経験を提供するように作られています。

多くの方が、IB教育を家庭で継続して行うことは難しいと考えられるかもしれませんが、しかし、IB教育は質問とリサーチ、それに続く研究や実験、考察や振り返りを基に形作られています。KISTの教員たちは、一年を通して6つの教科横断的テーマを使い、生徒たちを様々なトピックに導きます。

これらのテーマは、各々が一年間を通して学べるだけの深さと豊かさを有しており、学校での授業だけではカバーしきれないものです。IBでは、生徒達の想像力の許す限り、深く広く調査・探求を行うことを奨励しています。IBカリキュラムの重要な構成要素は「行動」です。これはつまり、学んだ知識を実生活に当てはめ、問題解決に繋げる、ということが重要になってくるのです。残念ながらこの要素は、主に時間的な制限のため、簡単に触れられるだけで次の単元に進まざるを得ない場合が多いです。

保護者の皆様には是非お子様の学習に関わって頂きたいと思っております。探求単元とその内容はすでにお子様の成績表、ポートフォリオ、そして記憶に刻まれています。これらを基に、お子様が学ばれている内容についてコミュニケーションをとって頂き、すでに学習した内容を一緒に復習され、どのようにお子様の知識を行動に移せるか、また世界をより深く理解するのに役立てることが出来るかご一緒に考えてみてください。夏休み中の学習に関する解決策は、お子様の机の上にあるのかもしれませんが。

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal



幼児教育ニュース



KISTファミリーの皆さん、こんにちは！これが2023-24年度最後のThe Cometになります。時が経つのは本当に早いですね。今号では、K1~K3のホームルームの先生方に今年の振り返りをお願いしました。各教室の様子を楽しんでいただければ幸いです。皆さん、楽しくリラックスした夏休みをお過ごしください！



Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1-K3)/K2A Teacher

K1A



K1Aでは、毎日が楽しく笑いに満ちていましたね。「Homes and Animal Homes (家と動物たちの家)」の単位では、保護者の皆さまのご協力とサポートが私たちの学習経験を大いに豊かにしてくれました。保護者の皆さまのご協力により、「バーチャル遠足」が実現し、インドとフランスの家の違いを探求したり、日本と中国の様々な家についても学びました。今年度唯一の遠足が、今年一番のハイライトだったと思います。生徒たちは「東京おもちゃ美術館」を訪れ大いに楽しみました。子供たちは体験型の木のおもちゃで遊んだり、クラスメイトと交流したりして楽しい時間を過ごしました。

K1B



今年は本当に楽しい1年でした！遠足にも行くことができ、新しい体育館のステージで最初にパフォーマンスをすることもできました！今年のハイライトのひとつは、Ms. Emmaのハムスターと一緒に過ごせたことです。「家とは何か」「誰が家を必要としているのか」「なぜ家が必要なのか」を学びながら、動物の家についても探求しました。インタラクティブな授業の中で、ハムスターのお家を自分たちの目でみたり、ハムスターがボールの中に入って教室中を走り回るのを見たりもしましたよ！その姿はとっても可愛らしく、みんなにとって素晴らしい経験となりました。

K2A



IB校の一員として、K2Aは今年、国際的な視野を持つことについて多くのことを経験しました。新年度の初日から、子供たちが家庭で使っている様々な言語を使って通学日数を毎日数えました。最終的には5つの言語を使用し、160日まで数えることができましたよ！また、2つ目の単位「Exploration (探求)」で学んだ各国の料理、インドのプーリー、フィリピンのトゥロン、日本の納豆巻きなど、たくさんの料理を作りました！また、色々な言語を話せる方々を招き、『From Head to Toe』という本を異なる言語で読んでもらう機会もありました。読み聞かせ中、「I can do it」というフレーズを色々な言語で覚えました。「I can do it!」「我会!」「Kaya Kol!」「Je peux le faire!」などです。他国について学ぶのは、なんて楽しいことなのでしょう！K2Aの皆さん、自分に誇りを持ち、常に周りの人たちに親切にしましょうね！

K2B



K2Bでは、1月に「Exploration (探求)」、3月に「Storytelling (ストーリーテリング)」の単位が終了したことを記念して、スリリングで教育的な宝探しの「BreakOut」ゲームを行いました。生徒たちは「忍者探偵」となり、グループで協力しながら様々な課題に挑戦し、物語の出来事を順序立て、様々な国についてのヒントを読み解いていきました。決意と戦略をもって、それぞれのカギを解き明かし、最終的には賞品を手に入れました。ゲームクリアのお祝いとして、参加者全員に輝くメダルと楽しいお菓子やおもちゃが贈られました。K2Bはこの冒険を通じて、素晴らしいチームワークと問題解決能力を発揮してくれました。本当に立派でした！

前ページの続き

K3A



今年、K3Aは大忙しでしたよ！生徒たちは科学者となり、仮説の立て方を学び、さまざまな科学的概念を探求しながら実験し、振り返りもしました。また、地球を誰もが幸せに暮らせる場所にするために、自分たちで再生紙を作り、アップサイクルプロジェクトに取り組み、「K3Aワールド」を作り上げました。子供たちは実践的な活動に取り組み、創造的な解決策で問題を解決していったのです！これらの成果はすべて、みんなの思考力とチームワークの賜物です！K3A、大変よくできました！



K3B



K3Bのハイライトは、ずばり科学実験ですね！実践的なアクティビティの中で子供たちが熱中している姿を見るのは、本当に楽しかったです。科学的な方法というのは、子供たちの年齢にしては複雑すぎる概念のように思えるかもしれませんが、積極的に実験に参加することで、みんな学習プロセスに対するコントロール感を得ることができました。これはTDIだけでなく、算数やリテラシーなどの科目でも同様で、学習がより興味深く、やりがいのあるものになりました。実践的なアクティビティに没頭することで、生徒たちはただ学ぶだけでなく、学習プロセスそのものを楽しむことができました。この学習アプローチは、生徒たちの探求心に火をつけ、実践的な経験を通じて、粘り強く学ぶ意欲を育んでもくれました。実験中のみんなの好奇心とわくわくした顔は、幼児教育における体験学習の有効性を証明していました。

KPASS合唱フェスティバル



5月8日、エレメンタリー合唱クラブの生徒たちが、学校対抗KPASS合唱フェスティバルに参加しました。生徒たちは歌の才能を披露するだけでなく、ワークショップのトレーニングを受け、150人以上の生徒と一緒に歌う大規模な合唱作品に参加することができました。KISTがこのイベントに参加するのは今回が初めてで、生徒たちは来年も参加することをすでに楽しみにしています。

Robert Collins と Niña Reyes
Music Teachers



KIPSニュース



今年の桜は例年よりも長く咲き続け、4月中旬のP0/P1やP2ピクニックでも子どもたちと楽しむことができました。

4月からP0/P1では2名の園児を迎え入れ、賑やかな園生活を先生も子どもたちも楽しんでます。P1の既存の子どもたちはリーダーとなり、新入園のP0/P1の子どもたちは新しいルーティンに慣れるよう精いっぱい頑張っています。P2の子どもたちも合同Play timeや公園で赤ちゃんたちのお世話を進んで手伝い、レッスンでは楽しみ学びながら卒園の準備に向けて頑張っています。

子どもの未来や将来の成功のためには「非認知能力」を育むことが大切だと言われています。非認知能力を伸ばす時期は乳児期、1～6歳の幼児期、児童期・青年期における学校教育の時期、という三つの区分に分かれるそうです。ここKIPSでは乳児期と幼児期の一部を担っています。(0～1歳)に養育者との安定したアタッチメント(愛着)、幼児期(1～6歳)は、遊びの中で育つのが自発的行動だと言われています。

「子どもはありのままの自分を温かく受け止めてくれる大人がいることで、自分の気持ちをコントロールできます」情緒的な安定が得られることで、非認知能力のなかでも、感情をコントロールする力、忍耐強さ、自分を信じる力、他者に共感する力などを育む土台が築かれます。幼児期は、子どもが興味のあること、楽しいことを探して、遊びのなかでその経験を積み重ねることが、自発的な行動を身につける力となります。

楽しいことに熱中して集中力を高める基礎をつくる「幼児期の遊び」を大切にしながら、「どうぞ」「ありがとう」のやり取りで芽生える相手を思いやる気持ち(協調性)、「もっとやってみよう」「挑戦して頑張ろう」と前向きな気持ち(意欲)、「できた」「わかった」「楽しい」という(達成感・自信・喜び・好



奇心)をKIPSでは学んでいます。

子どもたちが将来どんなことに興味を持ち、どのような方向に進むのかわかりませんが、少しでも彼らの土台づくりに役立ちたいと考えています。

6月13日(木)には Completion Ceremonyがあり、誇らしい姿をぜひ見てください。

6月末まで残りの園生活を一緒に楽しく過ごしましょう！そして素敵な夏休みをお過ごしください。



Yukiko Jones
KIPS Office Coordinator



From the P0/P1 classroom...

P0/P1クラスに4月から新しいお友だちが2名入園しました。KIPSにもすっかり慣れてお友だちや保育者と楽しく過ごしています。

今年のConcertは「Wheels on the Bus」を披露しました。今回は初めてP0/P1クラス合同の参加で不安と期待を胸に Concertまでの本番を過ごしConcert練習は遊びの時間や Good byeサークル後に行き、最初は保育者の踊る姿を見ただけの子どもたちでしたが、練習を重ねるうちに子どもたちも振り付けを覚えていき、歌に合わせて楽しみながら踊る姿が見られました。リハーサル・本番は誰も泣かずに大きな舞台



Hitomi Hirakawa
P0/P1 Teacher

へ上がる事ができました。たくさんの方が見ていた中で、楽しみながら踊る子どもたち、緊張して固まってしまった子どもたちもいましたが、最後まで頑張って参加出来た子どもたちをたくさん褒めたいと思います。



次のページに続く

前ページの続き

From the P2 classroom...

月日の流れや子どもの成長は驚くほど早いもので、もう気づけば6月になりました。入園当初は「Good morning」の意味さえ分からなかった生徒たちが今では友達同士、英語で話し、お家でも英語で話すというお話を聞き、嬉しく思い、成長を感じています。

英語力もですが、生徒たちはこの一年間、K1での学びをより実りのあるものにする為、KISTでとても大切にしている非認知能力(自制力、忍耐力、行動力、思考力など)を友達と共に伸ばしてきました。今後、この一年間KIPSで学んだことを生かし、K1で素晴らしい日々を過ごしてもらいたいと願っております。

Term 6と7を振り返ると、株式会社ヤクルト主催の「お腹体操」を開催いたしました。ヤクルト職員からお腹を健康に保ち、健康なうんちを出すには?という事を学び、興味津々で様々なうんちの模型を見て生徒たちはとても集中して聞き、ヤクルトオリジナル体操をととても楽しそうに踊って学びました。

Spring Concertでは約3か月にも及ぶ練習の成果を保護者の前で堂々と披露することができました。

保護者参観では昨年度から始め、好評だった普段の様子みってもらうことをメインとした参観を実施しました。子どもたちに知られないよう出入り口の上部をカバーし、カバーの隙間からレッスンの様子を見て頂き、いつもの授業風景を楽しんで頂けたのではないかと考えています。



数々のイベントが終わり、KIPSでのイベントは残すところあとCompletion Ceremonyのみとなりました。最後のイベントが、生徒と保護者の両方にとって、素晴らしい思い出となることを願っています。

Sohta Ohashi
P2 Teacher



2023-24年度さくらメダル読書感想文コンテスト



本年度もインターナショナルスクール日本語教師会により「第15回さくらメダル読書感想文コンテスト」が開催されました。本校からは、低学年の部に3名、高学年の部に5名の作品を応募しました。

審査の結果、高学年の部では、優秀賞にSho (G5A)さんとMasayuki (G4B)さん、努力賞にWakana (G5B)さんが選ばれました。おめでとうございます。

低学年の部



(左>右) Itsuki (G2B), Yui (G2B), Aimi (G3A)

高学年の部



(後列) Sho (G5A), Amane (G5A), Ray (G5A)
(前列) Masayuki (G4B), Wakana (G5B)



Sho (G5A)



Masayuki (G4B)



Wakana (G5B)

IGCSEニュース **RRR**

IGCSE試験の終了を間近に控えているG10の皆さん、おめでとうございます！本号が発行される頃には、化学と物理の試験を残すのみとなっています。5月10日にIGCSEの最終試験が始まって以来、生徒たちは少人数制の復習セッションを通じて互いにサポートし合いながら、それぞれの課題に万全の態勢で臨み、良いチームワークを発揮してきました。8月22日に発表される結果が待ち遠しいです。IGCSEカリキュラムを修了するG10の皆さん、あらためておめでとうございます。皆さんがこれからディプロマ・プログラムで何を成し遂げるか、とても楽しみにしています！

G9はIGCSEカリキュラムの最終学年を心待ちにしています。この移行に伴い、夏休みの間にどのような準備をすればよいのか、疑問をお持ちの方もいるかもしれません。私は3つの重要なアドバイス、「3-R」を提案します。

Review past content (過去の授業内容を復習する)

G10に進級する際に重要な基礎概念の理解を固めるために、G9で習ったトピックを復習しましょう。Seneca Learningやその他の復習できるウェブサイトを利用して、自信がない分野を強化しましょう。

Reflect on your learning strategies (学習計画を振り返る)

ノートの取り方、学習スケジュールの遵守、過去の試験問題での練習など、どれだけ効果的に学習を計画できたかを振り返りましょう。改善できる点を洗い出し、次の学年の初めにこれらについて私と話し合う準備をしましょう。

Recharge and Reconnect (充電と繋げる)

夏休み中は、学業と趣味や運動など他の興味とのバランスを保つことが大切です。習慣として運動をしていない場合は、来年度からも続けられる運動計画を立てることをお勧めします。運動はストレスを管理し、集中力を維持するのに役立ちます。さらに、この夏休みを利用して時事問題に取り組み、前年度で学んだことに関連づけましょう。G9で習ったことや実社会での応用を結びつけることで、理解が深まり、学習へのさらなる興味を喚起することができます。

最後に、来年度のG9がIGCSEを始めること、特にG9キャンプを心待ちにしています！

夏休みを満喫し、新年度にまた会えることを楽しみにしています！

Keith Erickson
IGCSE Coordinator



スタッフ10!



今月のスタッフ10!では、2018年1月に入職し、当初はエレメンタリースクールでティーチングアシスタントとELSインストラクターとして働き、その後ICTの教職に就いたEmily Cobbsさんをご紹介します。

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私の故郷は海に面した街なので、ビーチで体育の授業をすることもありました。学校のサーフィンチームに所属していました。“In fact, that was my job. Just beach!”(海にいること、ただそれだけが私の仕事でした。)

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

私が世界で一番好きな場所は、山の中です。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

もし誰にでも会えるとしたら、先史時代の人に会って、当時の生活がどのようなものだったのかを聞いてみたいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

縫い物や刺繍が好きです。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

あまりゲームが好きではありません。

6) あなたにとって一番の宝物は？

健康が一番の宝物です。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

私が最も共感するIB学習者像は‘Inquirer’ (探究する人)です。なぜなら、人生には学び、経験すべき素晴らしいことで溢れているからです。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

いいえ。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

日本語能力試験 (JLPT) N2の勉強をしています。

10) ファンに一言お願いします。

一緒にコンピューターについて学んでくれてありがとうございます！外にも出て楽しんでくださいね。



栃木の活火山、茶臼岳の山頂からの景色と一緒に写る、山好きのMs. Cobbs (左)

MUN(模擬国連)クラブ報告

2024 AOBAMUN

2024 AOBAMUN会議での経験

4月27日、KIST生はAOBA模擬国連会議に初めてに参加する機会を得ました。この会議では、様々な国を代表する、2つの委員会に分かれ、人類が直面する大きな問題、AIの脅威について討論しました。

参加したKISTの代表者の多くにとって初めての経験であったため、実り多い会議となり、実行可能な幅広い解決策が得られました。教育におけるAIの倫理的利用から、サイバーセキュリティにおけるAIの依存性まで、様々なトピックが取り上げられ、各代議員はスピーカーの主張の隙を見つけようと、熾烈な討論が繰り広げました。チームワークによって、私たちは与えられたたったの30分という時間が刻一刻と過ぎていくのを見ながら、時間との戦いの中で決議案の草案を書き上げることができました。そして、奇跡的に、すべての決議案は可決されました。

その後、まさにカオスと化した危機管理委員会が開催され、アメリカがロシアを空爆するという仮想シナリオの後、各国が覇権を争うこととなりました。激しい討論会では、インド代表(Kazumune, G7A)がカーブ制度を世界に復活させようとしたり、スイス代表(Xintong, G8A)がアメリカの核兵器を引き継ごうとしたりする場面が目立ちました。Xintong(G8A)は、このイベントでのパフォーマンスが評価され、優秀賞を受賞しました。

イベントを振り返ってみると、AOBAMUNは参加した全ての代表団にとって、国連の様々な委員会を理解する良い機会となりました。各代表が熱意を持って議論したこの経験は、来年、KISTがCOVIDの後、初めて模擬国連会議を主催する際の貴重な足がかりになると考えています。来年の会議では、多くの見知った顔に再び会えることを楽しみにしています！

Xintong (G8A)



Xintong (G8A) と
Rihana (G8A)



Japan Metropolitan MUN

洗足学園でのJapan Metropolitan MUN会議

洗練された複雑なアイデアを、弾丸のように叫びながら提案する。これがMUNなのだ。私は初めてのMUNに圧倒されました。私はUNODC委員会のヨルダン代表として、不法薬物取引の最小化という議題を担当しました。

今回の洗足学園のMUNは、これまでに開催されたMUNの中でも最大級のものだと聞いていましたが、それは本場で、私たちの委員会には約70人の代表が参加していました。そして海外からの参加者もいたと聞いて驚きました。私は単に参加することを目標にMUN活動に加わっていたのですが、海外から来た人たちは対照的に国際関係という熱い目標を持っていました。政治に情熱を燃やす人たちにとって、MUNがこれほど壮大な目的を持つ場だったとは驚きでした。

MUNを愛する人々の壮大なオーラに影響され、私もMUNを熱烈に愛するようになりました。議論された決議案はとも興味深く、各人がそれぞれのトピックについて異なる視点を持っていました。異なるブロックがメンバーを獲得しようとし、指定された国に対する家父長制の言語的な拳を投げ合いながら、議論の砲火が飛び交いました。これらの会話を通じて、私は積極的に発言し、先導することはありませんでしたが、常に共有された知識を吸収していました。しかし、得た知識を公式に発表することはできませんでした。

これは次のポイントにつながるのですが、私の最大の敵、それは人前で話すこと(パブリックスピーキング)です。もともとMUNに参加したのは、パブリックスピーキングを上達させるためでした。少人数の代議員からゆっくり始めようと思っていたのです。しかし、私が目にしたのは70人の代議員たちでした。彼らは互いのボディランゲージを鋭く凝視し、互いの「うーん」や「間」を分析し、巧みな反論を繰り出す瞬間を辛抱強く待っていました。この捕食者のような聴衆が恐怖を生み、その結果、私は自身の名札(カード)を掲げて発言することさえできませんでした。大商社が入るはし終えると、瞬く間に50枚以上のカードが挙げられていたでしょう。中には、椅子の上に立ち上がって、獣のように代議員たちに対する発言の機会を必死に求める者さえいて、私は恐怖に震えました。...しかし、代議員たちのあまりに熱いハングリー精神と恐れを知らない態度に触発され、恐怖に打ち勝つためにMUNを続ける気になりました。

全体として、洗足MUNは私に典型的なMUNの構造の基礎を提供し、MUNに参加することで生じる大きなプレッシャーを与えてくれました。しかし、同時に自分のアイデアに権威を求めるようなハングリーな代議員になりたいと思わせてくれる場でもありました。



Jyoti (G10B)



Daeseong (G10A) と Jyoti (G10B)



Max (G8A) と Han (G8C)



Lander (G10B) と Arnav (G10B)

次のページに続く

前ページの続き

名古屋大学MUN

KISTの代表団が名古屋大学でのMUN会議に参加

名古屋大学のMUNは、私が参加した2回目のMUNであり、私の人生で最も楽しい経験でもありました。私はUNHRCの委員会で、拘留所における人権保護を議題とする南アフリカ代表を務めました。これは南アフリカにとってデリケートなテーマであり、割り当てられた代表である私に、創造的な言葉の使い方、アイデアや戦術の巧みな操作が要求されました。

初日はこれまでのMUNとはまったく違っていました。「南アフリカ」と呼ばれるのを聞いて私の心臓がドキドキし、小躍りし、緊張しながら「プレゼンテーションと、と、と投票」と小声で述べました。この時、私は嘲笑を予期していました。自分の無価値さ、緊張、恐怖をさらけ出すような嘲笑を。これまでのMUNでもそうでした。捕食者のような聴衆のオーラが、私に最悪の事態を恐れさせたのです。しかし違いました。

笑いもなく、音もなく、続いたのは静寂と共に読み上げられる国名でした。

「セルビア代表...」

そしてリストは続く。そして続く。続く。

その後も、私は歓迎の雰囲気驚かされました。振り返ると、参加者たちは私に微笑みかけ、楽しそうに笑い、MUNの一刻一刻を心から楽しんでいました。私の姿勢も、うつむき加減だったのが自信に満ちたものになっていきました。

私はオープニング・スピーチをするためにカードを掲げました。心臓の鼓動が小さくなり、そして2分足らずで、私はスピーチを終えました。

「そんなに悪くなかった！」と私は心の中で思いました。

このMUN期間中、私は合計19回、自身のカードを掲げました。私の心臓は2日間を通してまだドキドキしていましたが、それは恐怖や緊張や恥ずかしさからではなく、興奮からでした。私はMUN全体を通して自分のアイデアを効果的に発表し、難民保護の原則といわれるノン・フルマン原則やコミュニティ統合型ソリューションといった主要なトピックが継続されるきっかけとなりました。私は今回のMUNでベスト・ポジション・ペーパー賞も受賞しました。

私はもともと社交に懐疑的でしたが、期間中、社交にも熱中しました。みんなのところに行って、ただひたすら話したのです。これは決して自然なことではなかったのですが、このMUNではとても温かい雰囲気に包まれ、何も考えずに話すことができました。会場中に広がる笑い喜びは他の人にも伝染し、普段はシャイな人も話し始めました。私は大学生と多くのつながりを持ち、自信とスピーチのスキルを向上させ、国際関係への好奇心の種を育てることが出来ました。

これは私の人生で最も楽しい経験で、私は「MUNが大好きだ」と考えるようになりました。

Jyoti (G10B)



ニューフェイス

前回のThe Comet発行後に、オフィスチームに、セカンダリースクールのアドミン・アシスタントとしてShion Yamamotoが加わりました。

学校コミュニティを代表し、Ms. Yamamotoの新しい役割での成功を祈っています。



Shion Yamamoto
Administrative Assistant
(Secondary)

スクールカレンダー2024-25アップデート



学校休暇期間およびその他の重要な日付は、2023年12月号のThe Cometで発表されましたが、その後、以下の通り2点変更となりました。ご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

完成されたカレンダーは、近日中に配布いたします。

- **KISTival:**

(2024年は開催いたしません)

- **冬休み:**

2024年12月14日～2025年1月6日

(生徒の新年度の始業日は2025年1月7日(火)です)

夏におすすめなアプリ



2024年夏(そしてその先も!)のベストアプリ

今年の夏は記録的な猛暑になることが予想され、多くの人が日差しを避けて屋内で過ごさざるを得なくなるでしょう。ソーシャルメディアアプリの「ドゥームスクロール」(doomscrolling) やゲームの連続プレイ(もちろん、適度であれば問題ありません😊)よりも、前向きで生産的なことに集中する良い機会です。



ここでは、教育関係者がさまざまな理由で強く勧める3つのアプリを紹介しましょう。

Matthew Archer
Student Care Coordinator (Secondary)

GoNoodle Kids Videos

対象年齢: 6~12歳

どのようなアプリですか？

GoNoodle Kidsは、児童が受動的ではなく、能動的にデバイスを使用することを奨励します。ビデオライブラリー(最終集計300本以上)には、心身の健康に焦点を当てた様々な長さのビデオが収録されています。ヨガ、ダンス、呼吸法は、利用可能なビデオの種類のほんの一部に過ぎません。インストラクターが指導するビデオも多いので、低年齢の生徒にも使いやすいです。



DreamyKid

対象年齢: 3~17歳

どのようなアプリですか？

DreamyKidは、日中にも、寝る前にも使えます！様々なトピックが含まれており、音声とビデオの両方のオプションがあります。このアプリの目的は、若者が抱えている不安の自己管理をサポートし、大人になってからも使える落ち着いた方法を身につけることです。



7 Cups Therapy

対象年齢: 13歳以上

どのようなアプリですか？

7 Cupsのユーザーは、チャット機能を使って話を聞くことに訓練された方と1対1で話し、支援コミュニティグループやフォーラムに参加することができます。これは思春期のお子さんに特化したアプリです。認定された方が1対1で話を聞き、チャット機能は匿名で、知らない人に心を開くための押しつけがましくない方法を提供します。アプリ内には有料の機能もあるので、大人の同意なしにコンテンツにお金を払わないことの重要性をお子さんに話してください。このアプリはプロの世界で急速に広まっているようです。



DP物理のゲストスピーカー

University of Colorado Boulder, Professor Nils Halverson

日進月歩の物理学の世界において、第一人者から学ぶ機会にはかけがえのない経験です。先日、G11とG12のDP物理の生徒たちは、サバティカル・イヤーを東京で過ごしているProfessor Nils Halversonをお迎えする特別な機会に恵まれました。

Professor Halversonは、宇宙マイクロ波背景(CMB)の観測を通して宇宙の起源を研究するためのミリ波長装置を開発したことで有名です。この研究は、宇宙のインフレーションの初期に放出された重力波の証拠を集め、ニュートリノの質量を制約するために極めて重要であります。さらに、彼の研究は宇宙構造の成長とダークエネルギーの性質の理解に役立っています。

現在、Professor Halversonは、南極点望遠鏡(SPT)とPolarbear/Simons Arrayという2つの画期的なCMB実験の共同研究者であります。また、LiteBIRDやその他の次世代CMB宇宙ミッションのための焦点面技術の開発を目的としたNASA技術開発助成金の共同研究者でもあります。

Professor Halversonと会う素晴らしい機会を与えてくれたのは、Mr. Kiltyであります。これを可能にしてくれた彼に感謝をしています。以下は、Professor Halversonの啓発的なプレゼンテーションの動画です：[リンク](#)

生徒たちは、Professor Halversonの洞察に深い感銘を受けました。この経験は、彼らの物理学の理解を深めただけでなく、宇宙の謎を探求する情熱に火をつけました。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science



G11 TOK展2024

TOK展は、生徒たちが授業で学んだTOKの概念を用いて、知識に関する質問(例: 知ることができないものはあるのか)を3つの現実にあるオブジェクトに結びつけるプロジェクトです。展示自体は文章形式ですが、4月17日に行われたイベントでは、G11の生徒がG10の生徒に自分たちのオブジェクト(制作物・対象物)の一つを紹介し、TOKという科目がどのようなものかを理解してもらう機会となりました。G11の生徒は、6階フロアに展示を行い、装飾品や小道具を使って、自分たちの対象物やアイデアを披露しました。当日、G10はそれぞれの展示を回り、さまざまなテーマについての2~3分のプレゼンテーションを行い、Microsoftのフォームで評価の点数を提出しました。

私の展示は、「知識と文化の関係とは何か」というテーマで、Wok Hei(中華鍋の「気」)を対象物として発表しました。Wok Heiは広東料理特有の香ばしい匂いで実体がないため、発表で最も難しかったことのひとつは、対象物を説明することでした。他の多くのグループもまた、深く考えた説明を必要とする抽象的なオブジェクトを紹介していました。私にとっては、友人から借りることができた中華鍋を実際に持ってくることによって、中華鍋を振るというテクニックがどのようにWok Heiの形成につながるかを示すことができたので、オブジェクトの説明がより深まりました。また、何人かの生徒には実際に中華鍋を振ってもらい、正しい技術で振ることの難しさを体験してもらいました。

このイベントでは展示の一部として動画を使えなかったため、私は説明の長さ、速さ、言葉遣いなど、説明を修正しながら、G10が口頭で私の展示内容を理解できるように工夫しました。このように、この展示会は人前で話すことやプレゼンテーションの練習になり、私はコミュニケーション・スキルだけでなく時間を管理する能力も鍛えられました。全体的に、この展示会は、G11の生徒にとっては、プレゼンテーションの練習をしながら自身のTOK展を振り返る素晴らしい機会であり、G10の生徒にとっては、来年TOKがどのようなものになるかを垣間見る機会であったと思います。

Fumie (G11A)



Knowledge
is power!



KPASSモダンミュージック・フェスティバル

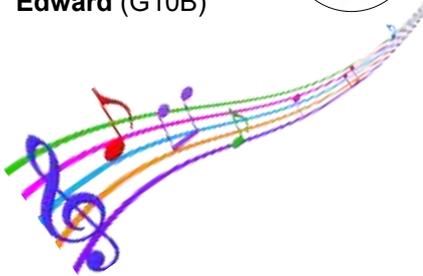
晴天に(やっと!)恵まれた4月13日の土曜日、初めて開催されるKPASSモダンミュージック・フェスティバルに参加するため、僕たちKISTロックバンドは横浜インターナショナルスクールに向かいました。午前中、Mr. Robert 主導のものを含むいくつかのワークショップに参加したのち、僕たちは観客の前で、世界的に有名な、ロビー・ウィリアムズの「Angels」、レーナード・スキナードの「Sweet Home Alabama」、スティービー・ワンダーの「Superstition」の3曲を演奏しました。僕はキーボード/ロック・オルガンとボーカルを担当、G10AのFloraはボーカル、G10AのUlalaはベースとボーカル、G10BのJianiはキーボード、G6AのKohlはドラム、G9AのSaumitraはギターとボーカルを担当。そして、G9Aのギター担当のRianは、「Sweet Home Alabama」の演奏中に、恐らくコンサートのハイライトとなった、圧倒されるようなギターソロを披露してくれました。

KPASSモダンミュージック・フェスティバルは、個人的に間違いなく忘れられない経験となりました。他の才能あるミュージシャンたちとステージを共有し、芸術的な方法で自分の学校を代表することができたのは、一生の思い出です。他校の生徒の前で演奏したのは、なかなかユニークな体験でしたが、他校の生徒たちが演奏する姿は本当に刺激的で、僕たちのバンドのモチベーションを高めてくれて、今後のアレンジのための新しいアイデアをたくさん与えてくれました。

Mr. Robert, Ms. Niña, Mr. Rowlands, 1年を通して大変お世話になりました!



Edward (G10B)



The Power of Voice (声の力)

LSP英語のG7のノンフィクションユニットでは、世界に対する批判的理解を深めることを目的としています。フェミニズム、気候変動、人種差別、同性愛嫌悪などの重要なトピックを取り上げ、生徒が強い関心があるテーマについてのスピーチを作成するために必要な書く力を身につけることを目指しています。これらのスピーチはクラスで発表され、クラスメートが3人の優勝者を選び、「The Power of Voice」コンペティションの最終選考に進出しました。

先週の金曜日、「The Power of Voice」コンペティションで9人の優勝者が競い合い、生徒と教師に社会問題について啓発しました。トピックは女性の権利やジェンダー差別から、サッカー、気候変動、学業の階層化、親の過剰管理、



エコサイド、AIの支配まで多岐にわたりました。イベントに参加したチームメイトを応援するため、観客はモチベーションを高めるプラカードを持ち、会場はエネルギーで満ち溢れていました。

Olivia Kemble-Clarkson
Secondary English Teacher



このイベントは、私たちが興味のあるトピックについて発表する方法を学ぶだけでなく、さまざまな社会問題について無数の異なる視点を学べる素晴らしい機会でした。自分のトピックについて調査している間、「このトピックには非常に興味がある」という状態から「自信を持って聴衆に知識を共有できる」状態に成長することができました。さらに、このイベントを通して、次のような反省と考えをもたらしました：効果的なスピーチとは何か？どのような工夫を盛り込むべきか？スピーチをどのように始め、終えるべきか？聴衆の注意を引くにはどうすればよいか？決勝には進みませんでしたが、どのスピーチにも感動し、この貴重な経験を堪能できました。—Ann (G7A)



学生たちに声と自由を与える「The Power of Voice」のスピーチはとても興味深かったです。エトス、パトス、ロゴスをスピーチに埋め込み、聴衆を惹きつけるために、スピーカーが様々な工夫を凝らしていたのが特に印象的でした。気候変動に関するトピックについてより深く理解した今、私はこの世界的な問題の擁護者になりたいと強く感じています！この経験は、この世界は美しいが、解決しなければならない多くの問題にも満ちていることを実感させてくれました。優勝者の皆さん、おめでとうございます！ —Jun (G7A)



世界には多くの問題があり、疎外されたグループを支援するために声を上げることの重要性を学びました。「ロナウドが最高のアスリートである理由」から「女性の権利」まで、様々なトピックに感銘を受けました。また、過労がなぜ悪いかについての統計を学び、ナパームが「エコサイド」行為であるという話題にも関心が湧きました。多くのスピーチは私に改善、支援、問題解決への衝動を感じさせ、一部は私を話題に引き込みリラックスさせ、一部は私を苛立たせ、意気消沈させました。しかし、すべてのスピーチの中で特に魅力的だったのは、Angelinaによる「ジェンダー差別」のトピックでした。彼女のトーン、ピッチ、アイコンタクト、言語テクニックの使用は、ジェンダー差別が私たちにどのような影響を与えるかというメッセージを完璧に伝えていました。すべての逸話、すべての文章がこの問題の重要性を表現していました。このユニットは、言語の使用、テクニック、構造についてのスキルを形成するのに役立ちました。—Xiaoye (G7A)



今年の「The Power of Voice」コンペティションから、パワフルなスピーチが聴衆に与える影響の大きさを学びました。特にMr. ArcherのクラスのLucaが話した気候変動を克服するという感動的なスピーチには感銘を受けました。彼の話は、DAFORESTを使った魅力的なものであっただけでなく、幅広い層の聴衆の前で発表するためにスピーチに込められた勇気とコミットメントの力を示していました。このコンペティションは、パブリックスピーキングと効果的なコミュニケーションについて、私の理解を大きく深めました。授業初日に発表された最初の数本のスピーチは、私の自信と言葉で感情を伝える能力を大いに向上させました。最後に、同級生や優勝者の皆さん、素晴らしいスピーチを披露してくれたことを心から祝福したいと思います。これらのパフォーマンスは、次のG7生徒に向けて高い基準を示してくれました。—Aswath (G7A)

前ページの続き



「The Power of Voice」コンペティションから、社会についてのスピーチが実際にどれほどパワフルであるかを学びました。私たちが地球や国民に対してどれほどひどい仕打ちをしているか、世界に向かって叫びたいような感動を覚えました。女性の権利やジェンダー平等、そして親の過剰管理に関連するトピックは、人類が何世紀も前にすでに開発した足で一歩を踏み出そうとしていないことを実感させるスピーチでした。あるスピーチで述べられたように、「火種がなければ火は起こせない」。私たちの若い世代がその火花を起こすべき存在なのです。これらのスピーチは、今すぐ行動を起こさなければならないことを教えてくれました。このユニットのおかげで、スピーチを書くスキルが格段に向上し、聴衆に適切なメッセージを伝えるのに役立ちました。社会の状況について私に広い視野を提供し、これらの問題に対して行動を起こすきっかけとなった受賞者に感謝したいです。—Samiksha (G7A)



KISTの教師が科学論文を共著

KISTセカンダリーの生物学の教師である**Jamee-Grace Rose**は、ミネソタ大学で以前行った研究により、科学誌の「Nature」でCRISPR遺伝子編集に関する論文の共著者として掲載されました。Miss Roseはその詳細を以下のように語っています。



2020年から2021年まで、私はミネソタ大学で研究者として働いていました。コロナウイルスのパンデミックのため、研究室ではほぼずっと一人で仕事をしていました。私の役割は、CRISPRを使って幹細胞を遺伝子改変するインハウスの手法を開発することでした。

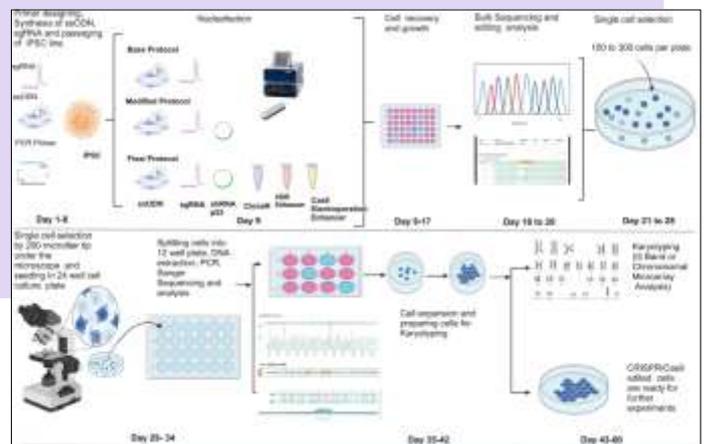
幹細胞は、神経変性疾患（アルツハイマー病など）の発症リスクを高める特定の遺伝子を持つ患者から採取されました。その目的は、患者の幹細胞内の異常遺伝子を修正し、機能獲得を調査することでした。その逆も行い、正常の幹細胞を疾患幹細胞に遺伝子編集し、機能喪失を調べるのです。

何度もオンライン共同研究会議を開き、失敗してはテストを繰り返し、そして成功させ、私たちはついにCRISPRを使って遺伝子改変した細胞株を作り上げました！この論文は、私たちの努力の結晶であります。

Miss Rose、素晴らしい業績おめでとうございます！あなたの経験が、科学に興味がある学生を、将来、科学を追求する助になることを願っています。

論文全文は以下のリンクからご覧いただけます。

Web <https://www.nature.com/articles/s41598-024-60766-4>



なぜ地球はすごいのか？



アースデー(4月22)は、私たちの美しい地球に感謝し、保護する特別な日です。今年のG8A Scienceの授業では、熱意と好奇心を持ってこの日を迎えました！

この世界の不思議に私たちをいざなう2つの魅力的な特別番組を見ることから、アースデーのお祝いを始めました。

Magellan TV (<https://www.magellantv.com/video/dynamic-earth>) の、「Dynamic Earth」という番組と共に時を旅し、生命の奇跡を可能にする驚くべきシステムを目の当たりにしました。次にCuriosity Stream (<https://curiositystream.com/video/8051>) では、ドキュメンタリー番組「A Day on the Reef」で活気に満ちた海洋生物を探索し、海を支える複雑な生命の網を発見しました。



私たちのクラスは、これらの魅力的なドキュメンタリーと、私たちの惑星の畏敬の念を抱かせる現実に刺激を受けました。この壮大な地球の一部であることの意味を考える時間をとり、自分の考えを書き留めました。生徒たちの感想をいくつか紹介します。

私たちが故郷と呼ぶにふさわしい惑星に感謝し、興味深く、インスパイアされるドキュメンタリーを探して、夏休みの間に観賞することをお勧めします。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science



最初のビデオは地球上のCO₂システムについて、2目のビデオはサンゴ礁についてでした。この2つのビデオを見て、私たちが住んでいる地球が実に美しいことがよく分かりました。それは地球の生態系は、年間何トンものCO₂発生に対処する方法を見出しているからです。植物はCO₂を取り込んで酸素を生成し、海はCO₂ガスを取り込んで海水に溶けて吸収をするのです。

さらに、魚やサンゴ礁、プランクトンや爬虫類など多くの種の生態系も同様に魅力的です。魚たちが海の中でどのように暮らし、サンゴ礁がどのように生き延びているのかというこの物語は、私たちが暮らす地球について、そして日々新たな発見がなされ、その多くが深海で発見される新種であることについて考えさせられました。このことから、私はこの地球とその歴史について、そして主に未来に何が起るのかについて、驚きと好奇心を抱いています。

悲しいことに、タイムトラベルはまだ実現していないため、私は過去と現在に基づいた知識しか持ってませんが、私たちがとても美しく夢のある惑星に住んでいることは確かです。

Max (G8A)



地球は、生命が存在するというユニークな特徴から、最も特別で美しい惑星のひとつだと思います。授業では、地球上の生命体が、空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を生産するなどの活動を通して、二酸化炭素の排出を抑制していることを学びました。

地球は兄弟星の金星と大きく異なります。金星には二酸化炭素をコントロールする機能があまりなく、その結果、金星の表面温度は500度に達し、多くの火山が発生したため、人間や他の生命が生きていくことが不可能になったからです。地球は温室効果ガスの排出をコントロールし、環境破壊から自らを守ることができるようにしなければなりません。生命のおかげで、地球は美しいのです。

さらに、この炭素循環によって営まれてきた環境は、人間の活動によって破壊されてきました。土地の砂漠化、地球の温度上昇など、環境問題から生じる悪影響を防ぐためには、二酸化炭素排出量を減らすための小さな一歩を踏み出すことで、人間がそのためにどう行動すべきかという意識を高めることが必要だと思います。また、この活動がうまくいかなければ、地球の美しさは失われ、金星のような環境の惑星になってしまうかもしれません。

Sarah (G8A)



地球のシステム—最初のビデオで紹介される地球のシステムでは、地球上の生命が地球のバランスのとれた組織や気候にどのように貢献しているかについて話しています。地球という存在がいかに奇跡的であるかを考えさせられました。金星と違って、地球には今のバランスに影響を与える要素が無数にあり(磁力線、生物がCO₂濃度に与える影響)、それは偶然の一致のように思えました。ビデオを見終わった後、私たちが今住んでいる地球への感謝の念が強くなり、より良いケアをしなければならないと考えました。

生命の貢献—2本目のビデオでは、サンゴ礁の海洋生物について、その生息環境と食物連鎖を中心に解説しています。人間と同じように、魚や水中の生物にも社会の仕組みがあり、その仕組みの中で誰もがそれぞれの役割を持っていることを知りました。それぞれの生き物のユニークで特徴的な外見や生活様式を見るのはとても興味深かったです。私たちはこれらの生物と接することはあまりないかもしれませんが、地球上で生きているのは私たちだけではなく、それぞれの生物の貢献が地球のバランスを生み出しているのだということを再認識させられました。

Momo (G8A)



DP ESSのGrade 11クラス校外学習

今年の5月に、DP Environmental Systems & Societies (ESS)の授業の一環で、G11の生徒数名が荒川・砂町水辺公園へ校外学習に行きました。

生徒たちは一日フィールドワークを行い、歩道からの距離と植生種の多様性の関係を調査しました。この校外学習は Ecosystems & Ecologyのトピックの一部でした。

生徒たちは、システムティック・トランセクト・サンプリングなど、学校で学んだ生態学的サンプリングのスキルをフィールドで実践することができました。また、土壌水分、土壌

pH、気温、照度などの非生物学的要因の測定も練習しました。

生徒たちは太陽の下で、自分たちの技術を試す素晴らしい時間を過ごしました。コースの評価の一環として、結果を記録する実験レポートを書く予定です。

Marta Alba
DP ESS Teacher



(左>右) クアドラットの植生種を特定しているPranav (G11A)、Prakariti(G11A)、Yebin(G11A)



調査地で昼食を楽しむESSの生徒たち



(左>右) クアドラット内の植生種の数を知る、Feiru (G11B)、Isseh(G11B)、Prakariti(G11A)、Yebin(G11A)とPranav(G11A)



調査地に関する質的データを記録するESSの学生たち

クラブ活動のハイライト



ポケモンクラブ(エレメンタリー)

ポケモンの素晴らしい世界をテーマにした放課後クラブについてご紹介いたします！私にとってポケモンは、約30年前にハマっていたビデオゲームでした。近年、ポケモンはかつてないほど人気があり、KISTの生徒にもかなりの人気があるのを見て、ポケモンクラブを立ち上げることにしました。今ではもうポケモンは1000種類以上存在しているため、生徒の方が私より遥かに知識が豊富です！

ポケモンクラブでは学期ごとにいくつかの活動を計画していますが、活動内容は生徒たちの興味によって決まります。私たちのクラブでは「創造と作成」に重点を置いており、活動は主に絵を描くことですが、パーラービーズや紙粘土、折り紙などを使ってポケモンのキャラクターやポケモン関連のコンテンツを作成することもあります。トランプ形式のポケモンバトルで競い合うカードゲームも作りました。

現在、G1の生徒が10人在籍しており、みんなで紙粘土を使ったポケモン作りに挑戦しています。生徒にとっても、様々な道具を使う良い機会となっています！

ポケモンクラブに入るためには、ポケモンマスターである必要はありません。必要なのは、ポケモンの世界について学ぶことへの興味と創作意欲だけです！



John McDonough
Club Supervisor



ボードゲームクラブ(セカンダリー)

好きなボードゲームで遊んで勝つと、いつも明るい気持ちになります。私たちのクラブは、勝ちたいという強い気持ちを持ち、ボードゲームに熱中する人たちのためのクラブです。6人のメンバーで、毎週火曜日に異なるボードゲームを選びます。スカルクィング、チェス、カルカソンヌ、チケット・トゥ・ライド、カタンの開拓者なたちど、さまざまなゲームを楽しんでいます。最近では、チケット・トゥ・ライドとチェスが人気です。私たちのクラブの中には、チェスを史上最高のゲームだと考えているメンバーもいます。



私たちはよく、ボードゲームの無敵のチャンピオンになるために戦略を練ります。ボードゲームはたいてい長引きます。予定よりも長居することになり、予想以上に時間がかかるラウンドで激しく競い合うこともしばしばあります。ボードゲーム中の競争心は激しいです！

競争がボードゲームを楽しくします。チケット・トゥ・ライドで他の人が列車の路線を完成させるのを阻止したり、チェスで「チェックメイト！」と宣言したり、カルカソンヌで巨大な城を完成させたり、カタンで建物をアップグレードしたりと、最終的にゲームに勝つことは常に満足感を与えてくれます。もちろん、ボードゲームそのものの楽しさもあります。



結論として、私たちのクラブは、競争と戦略的思考を理解し楽しむボードゲーム愛好家のためのものです。私たちは真剣にボードゲームに取り組みますが、最終的にはいつも楽しんでます。

Toshani (G7B)



CTHからのお知らせ



CTHとは？

2015年に設立された Connect to Hisaichi (CTH) チームは、長年にわたり多くの組織的な募金活動を通じて被災地を支援してきました。例えば、PTC(3者面談)を含む学校行事でのお菓子や飲み物の販売などです。

2023年、CTHチームは16万円以上の売り上げを、トルコの地震災害の被災者支援のために寄付しました。毎週のチームミーティングでは、災害に対する意識を向上させるためのさまざまなアプローチについて話し合っています。直近では、エレメンタリーの授業で防災や災害後の備えについて発表することで、低年齢層にも災害教育を広める取り組みを行いました。最終的には、被災地への義援金を集めるだけでなく、災害が発生した場合に生き残るための関連情報を学校コミュニティに提供することを目指しています。

日本で生まれ育ったメンバーによって運営されているCTHは、KISTのコミュニティが日々の生活の中で頻繁に経験する地震について認識しています。これに対応するため、安全点検を通して学校コミュニティが地震の影響から守られるよう対策をしています。毎学期、私たちのチームから選ばれたメンバーがセカンダリースクールの全教室を訪問し、用意されている安全ヘルメット・防災頭巾の数を数えています。そして、各教室に割り当てられた生徒数と比較することで、ヘルメットの数が多い教室や少ない教室を特定しています。この方法は、緊急時にすべての生徒に安全装備を十分に提供するために必要であると考えています。



直近のプロジェクトでは、チームのメンバーがエレメンタリーの3年生の生徒たちに家庭レベルでの防災方法や、家族に伝えるのに役立つ知識についてのプレゼンテーションを行いました。多くの小学生が熱心に耳を傾け、メンバーとのブレインストーミングにも積極的に参加してくれたことを大変嬉しく思っています。私たちのグループは、



人々に災害に関する知識を教えることを大切にしているため、今回のプレゼンテーションは、私たちのグループの目的を満たす大きな前進であり、今後もこのような取り組みを続けていきたいと思っています。

2024年の1月に能登半島地震が発生し、28,000人が被災したと推定される中、CTHチームはトルコへの寄付と同様、10万円の寄付を行うことを決定しました。この行為はCTHにとって新たな一歩となりました。というのも、特別な募金活動なしに寄付をするのは初めてのことで、寄付金はすべて、このような緊急事態に備えて蓄えておいた資金から拠出されました。

この地震では、能登地方が世界的に注目されていましたが、私たちのチームは、新潟のようなメディアによって軽視されがちな地域でも地震の被害に苦しんでいる方々がいることに気づきました。その結果、今回は、能登(石川)に直接寄付するよりも、支援が手薄であろう新潟に寄付する方が適切であると、チーム一丸となって判断しました。



この1年間、私たちの活動に賛同し、支援してくださったすべての方々に感謝いたします。

Isseh (G11B)
Article edited by Shota (G11A)



図書室ニュース

Elementary Library



Book Week 2024

今年度のエレメンタリーでは、読書と文学の大切さを祝うアクティビティが盛りだくさんのBook Weekが開催されました。



生徒たちの母国語を代表する民族衣装や、好きな本の登場人物のコスチュームを着て行った「ブックパレード」から始まったこのBook Weekですが、パレード中、生徒たちの創造性と熱意が発揮され、みんな誇らしげに衣装を披露し、世界中の物語を共有しました。



自分の好きな本を友達や先生たちと共有していました。



週のハイライトは、Read Aloudセッションでした。保護者が学校を訪れ、母国語で生徒たちに物語を読み聞かせるというセッションでしたが、保護者と生徒が一緒になって魅力的な物語に夢中になり、本と読書への愛を育てている姿は心温まるものでした。

Read Aloudセッションに加えて、生徒たちは毎日、DEAR (Drop Everything And Read) という、全校一斉読書タイムも楽しみました。DEARは、みんなが活動を一時中断し、読書の世界に没頭するための時間です。Book Week期間中、生徒たちは喜びと期待に胸を膨らませながら、

Book Weekの成功を祝うとともに、本がいかに私たちの心を豊かにし、魂に栄養を与える生涯の伴侶となり得ること、そして「良書は最良の友」であることを、改めて強く思います。

一年を通して、読書が持つ不思議な力を大切にしていきたいと思います！

Priyanka B P
Elementary Library Supervisor



運動部最新情報

2024年春シーズン

Kanto JV女子サッカー



今年のJV女子チームは、期待に胸を膨らませてスタートしました。素晴らしい態度と楽しいチームの雰囲気相まって、非常に良いスタートを切ることができました。残念なことに、病気や怪我の影響で期待する結果にはなりませんでした。今年達成したすべてのことを誇りに思います。彼女たちはよく頑張りました。来シーズン、グラウンドでまた皆さんに会えるのを楽しみにしています！ —Mr. Buck

Coach Buck、JV女子サッカーチームの指導にご尽力いただき、ありがとうございました！

Coach Buck、JV女子サッカーチームの指導にご尽力いただき、ありがとうございました！

Kanto MS女子バスケットボール



今年のチームには総勢28名が所属し、その多くは新入部員でしたが、とても有望でした。MS女子Aチームは4勝6敗でKantoシーズン

を終え、ISTAAではLFITを破りました。Bチームは、新メンバーを迎えてやや苦戦しましたが、シーズン途中から勝ち星を重ね、3勝6敗で終わりました。KIST Kanto Aチームはそのトーナメントでは不運にも多くのルーティンシュートを外してしまい、シーズン中に勝っていたBSTとSt. Mauriに接戦で敗れました。久しぶりにKISTで多くのホームゲームを行うことができたので、来シーズンも生徒、スタッフ、家族の応援をよろしくお願いします。来春、彼女らが選手としてさらに成長するのを楽しみにしています！ —Mr. Ota

Kanto MS男子バレーボール



Kanto Plainリーグ初年度のMS男子バレーボールのKISTチームは12名で構成されていました。ASIJ、BST、そしてCAJIには2度勝利し、素晴らしいスタートを切りましたが、最終戦、TISIに4点

リードを奪われ、16-14で敗れました。これがトーナメントに臨むチームの自信に影響したのかもしれませんが。彼らはYISのチームを簡単に振り切りましたが、ASIJには2セットで敗れました。そして3位決定戦ではCAJIに3セットで敗



れ、夢のように始まったシーズンは残念な幕切れとなりました。来春はこの成績をさらに向上させたいと思います。

—Mr. Ota

Kanto JV野球



今年は梅雨の影響で定期的な練習ができなかったにもかかわらず、3試合を戦うことができました。結果は3敗でしたが、選手たちは

試合を重ねるごとに成長し、勝つために必要な技術と姿勢を示してくれました。—Mr. Nogami

Coach Nogami、JV野球チームをまとめ、指導していただき、ありがとうございました！

春シーズンISTAAフットサル最新情報:



ISTAAフットサルシーズンは6月最初の週末に開催されるU-18のトーナメントと6月8日(土)DSTYで開催されるU-14のトーナメントで幕を閉じます。

U-18男子はAoba、

Columbia、LFITに快勝し、5

戦5勝と無敗です。まだDSTY、BST、Horizonの強豪との3試合が残っています。U-18女子はLFITとの不運な引き分けがありましたが、ColumbiaとHorizonに対して2勝で無敗です。DSTY戦でもこの調子を維持したいところです。

U-14男子は、試合中に良い選手を欠くことが多く、今シーズンは少し苦戦しています。トーナメント前にBSTとの対戦が残っていますが、5試合で1勝です。フルメンバーのチームか否かで勝敗を分けるでしょう。一方、U-14女子は3戦無敗で、そのうちの1試合はLFITのG9女子との親善試合でした(LFITにはU-14女子チームがない)。それでも、U-14女子は6-2で快勝でした。さらにDSTYを5-0、UIAを15-0で勝ちました。BSTでシーズンを終え、その2日後にトーナメントがあります。今年はKISTがフットサルのトロフィーを獲得する年になるかもしれません。

U-18男子: Mr. Archer、U-18女子: Mr. Buck、U-14男子: Mr. Beaton、U-14女子: Mr. Ota
コーチの皆さん、ありがとうございました！

試合情報と試合結果は[Schoology >> Groups >> Resources](#)をご覧ください。

Dennis Ota
Athletics Coordinator



保健便り



今からできる夏バテ予防

「夏バテ」とは？

体がだるく疲れやすい、食欲不振など高温・多湿の夏の環境に体が適応するのが難しく、体調不良に陥った状態を言います。脱水症や栄養不足、体の機能を調整する自律神経（交感神経と副交感神経）の乱れなどが原因で起こります。夏バテ予防策を生活に取り入れ、今年の夏は快適に過ごせると良いですね。

夏バテしやすい生活習慣

- **冷房が効き過ぎる室内で長時間過ごす**
自律神経は発汗しながら体温調節を行っています。室内外の温度差が激しいと、体温調節のために自律神経が過剰に働き、疲れる原因となります。
- **短時間のシャワーで済ませる**
お風呂に入ると、体の内部温度（深部体温）が上がり、入浴後は深部体温がスムーズに下がることで、心地の良い眠気と睡眠を得られやすくなります。シャワーだけで済ませると深部体温が十分に上がらず、睡眠の質が下がる可能性があります。
- **偏食がち**
暑さで食欲が落ち、冷たい飲み物や喉越しの良い麺類など（炭水化物だけ）に食事が偏ると栄養不足になりがちです。
- **夜更かしが多く、寝不足気味**
夜遅くまで起きていると、リラックス状態へ導く副交感神経がスムーズに切り替わらず、眠りが浅くなり、十分な疲労回復につながりにくくなります。寝不足状態は、交感神経が働き過ぎてしまい、自律神経のバランスが崩れがやすいです。
- **運動不足**
適度な運動は自律神経のバランスを保ち、質の良い睡眠を得やすくなります。運動不足だと、自律神経の乱れや睡眠の質の低下に影響を及ぼしやすいです。

具体的な対策

- **クーラーで体を冷やし過ぎない**
外と室内の温度差が極端になるのを避け、クーラーを使用した状態で室内温度が28℃程度が適温と推奨されています。室内に空気の流れがあると快適ですが、風が体に直接当たると、体が冷えすぎたり、体内の水分が減り脱水になることもあるので注意しましょう。
- **お風呂に入る**
就寝前にぬるめのお風呂に浸かると、入浴後、深部体温が徐々に下がり睡眠の質がアップします。
- **こまめな水分補給**
起床後、水分と少量の塩分を補給をしておくこと熱中症予防に効果的です。こまめな水分補給は脱水を予防できますが、カフェインの大量摂取は、脱水症状を引き起こす可能性があるため注意しましょう。
- **栄養バランスの良い食事を心がける**
疲労回復に必要なタンパク質・ミネラル・ビタミンをしっかりとることがポイントです。また食欲増進効果のあるスパイスなどを料理に上手に取り入れたカレーなどおすすめです。
- **規則正しい生活リズムを心がける**
朝食を摂取し、太陽の光も浴びると、体内時計がリセットされ、夜には眠くなるようにホルモンが分泌され、自律神経のバランスが整います。
- **十分な睡眠の確保**
自律神経のバランスを保つには質の良い十分な睡眠が大切です。眠りの浅かった翌日は、15分程の短い昼寝も疲労回復には効果的です。
 - **適度な軽い運動を試みる**
暑さで体力が消耗しやすい時期なので、軽い運動で体力維持、自律神経のバランス調整、良質な睡眠を得られやすくなります。暑い屋外での運動や外出を避けたい方は、部屋で軽いストレッチなど、自分でできる範囲で体を動かしてみるのも良いかと思われます。



Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. What you need to know to prevent heat stroke. Retrieved May 23, 2024, from https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

KIST保護者会(CA)ニュース



2023-24年度のイベント

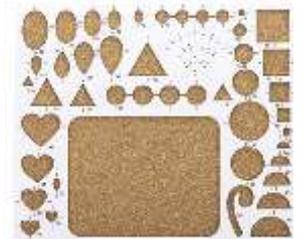
2023年

- 8月25日 セカンダリー保護者ウェルカムナイト
- 9月18日 セカンダリー保護者のためのコーヒーモーニング
- 10月9日 中古本販売
- 11月07日 (ISC)2 安心・安全なオンライン使用法講座
- 11月23日 古着販売
- 12月15日 ベークセールとポップコーンデー (ESRCと共催)
- 12月15日 ホリデーリースイベント

2024年

- 2月9日、16日 CASセッション
- 3月1日 ひな祭りお祝い
- 4月5日 クロスカントリー参加者にスポーツドリンクの提供
- 4月8日~12日 無人販売でのブックセール
- 5月1日 端午の節句お祝い
- 5月29日 CA感謝会

CA寄贈品



Book lists supported by the CA:
エレメンタリー セカンダリー

雛人形(ひな祭り)



[ひな祭りビデオリンク](#)

兜人形(端午の節句)



[端午の節句ビデオリンク](#)



無人販売ブックセール

クロスカントリー



CA新役員メンバー2024-25



会長

Priyanka Nadkar

Parent of
G6 Ashlesha,
G3 Aneesha



副会長

Harumi Yamamoto

Parent of
G4 Kanna



会計

Ikuyo Matsuda

Parent of
G1 Reina,
K1 Natsumi



書記

Antonia Richards

Parent of
G6 Isabella,
G3 Caleb



感謝会

本年度、献身的なサポートをしてくださったすべてのCAボランティアの方々に心から感謝申し上げます。

Welcome all parents! 2024-25

Sign-up
for CA!!



大学ガイダンスニュース

高等教育における多様性、決断の遅れ、そしてウェイトリスト



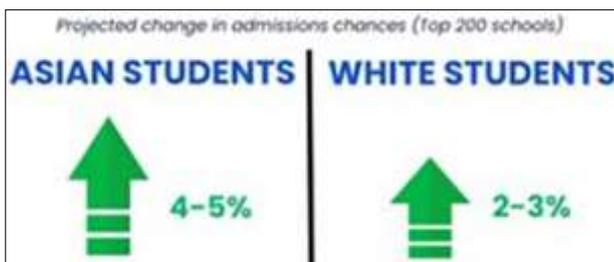
高等教育界は今年もまた波乱に満ちた年でした。物事がほぼ平常に戻った後、特にアメリカ国内では、入試の判定方法がまた大きく変わりました。この記事は米

国を中心としたものでありますが、世界的な影響もしばしば見られます。

多様性とアファーマティブ・アクションの変化

前回の記事で、アファーマティブ・アクション(積極的格差是正措置)の概念と、それが大学入試にどのような影響を与えているかについて簡単に触れました。アファーマティブ・アクションの背景にある考え方は、成績やテストのスコアが高い学生だけを受け入れるのではなく、学生が様々な立場の人々と出会うことができる多様なキャンパス・コミュニティを作る手助けをすることです。彼らの思考プロセスは、出身国、民族、家庭の経済状況、制度上の機会によって、個人として紙に表現できるデータはかなり違ってくるというものでした。

- **現在、どのような変化が起きているのか？**
今後(さらなる変更がない限り)ほとんどの大学は、出願書類を審査する際に、人種・民族的ステータスを考慮することができなくなります。それにより私たちの学生は全員、多様性を第一に、地理的な居住地によって考慮されることとなります。事実上、生徒全員が「日本に住んでいる」とみなされ、これまでのように同じようなパスポートを持つ他の学生ではなく、日本にいる他の学生と比較されることとなります。
- **これは私たちにとってどのようなメリット、デメリットになるのでしょうか？**
中国やインドなど、アメリカや他の大学地域に多く存在する人口大国出身の学生は、日本に住んでいるため、より大きな利点を得ることができ、より少ない人数と比較されることとなります。日本やその他の少数民族の国から来た私たちの学生は、例年と変わらないか、例年より若干競争率が上がったと感ずるかもしれません。



- **このニュースに対して、何か対策をできますか？**
特になにもできません。大学出願の特典を受けるため

だけに、さらに人口の少ない国に家族を根こそぎ移住させる価値はないと思います。こちらの情報を共有する私の目的は、通り抜けることが難しく感じられる大学受験のプロセスの中で行われている慣行について、少しでも現状を共有することです。「人種・民族的背景は大学出願に影響するのか？」という疑問に対する答えの一助となれば幸いです。

決定の遅れ

政府の方針変更と、学資援助や奨学金支給の遅れにより、学生が大学を最終決定する期限が5月1日から6月1日に延期されました。これは、多くの学生にとつ



て大きな変更ではありませんが、多くの学生がまだ志望校の最終学費(メリット/ニーズに基づく援助による減額を含む)に関する情報を受け取っていないことを意味します。このため世界中の生徒が、通常卒業前にわかる最終決定をすることが難しくなっています。

- **これは現在の12年生の生徒に影響しますか？**
はい、数ヶ月後の進路が確定していない生徒がまだいることを意味します(ストレスに感じている生徒もいるので是非、応援してあげてください！)。また、今年はウェイトリストに載る生徒が大幅に増えました。合格はしていないが、不合格にはなっていない、遅れた決断が保留となっている状態です。
- **今後の出願に影響はありますか？**
大統領選挙や、若い有権者を惹きつけそうな政策変更を急ぐ動きと相関関係があると考えられるので、これが一過性の事態であることを願っています。しかし、毎年少しずつ政策が変わるものであり、私たちは常に柔軟性を保つ必要があります。
- **このような不確定要素がある中で、私たちが考えるべき最善のアドバイスは何でしょうか？**
政府の介入、ビザ政策、為替変動など、学業以外の状況を予測することは困難です。私がお家族に一番お勧めしたいのは、集中しつつもオープンマインドでいられる方法を見つけることです。大学受験のターゲットを1カ国に絞るのであれば、それはまったく問題ありませんが、経済的な変化やその他の課題に応じて適切な選択肢を提供するためには、さまざまな学校(到達点、ターゲット、安全性)を選ぶ必要があります。

ウェイトリストとそれにまつわる噂

今年はウェイトリストの数がかなり多かったため、ウェイトリストの仕組みや、ウェイトリストから除外されるために生徒ができることについて多くの噂がありました。そのプロセスについて、少し詳しく説明したいと思います。



次のページに続く

前ページの続き

● **ウェイトリストとは何か、その目的は何か、どのようにしてウェイトリストに載るのか？**

大学(主にアメリカですが、世界中で人気が高まっています)は、ウェイトリストまたは待機者リストを使用して、学生に「あなたはうちの学校に適していますが、現時点では他にも少し適した学生がいます」と伝えます。例えば、2000人の定員があり、2000人にオファーを出したが、100人が入学を辞退した場合、大学はウェイトリストの100人に入学を希望するかどうかが尋ね、定員を最大にすることができます。

● **ウェイトリストから外れる可能性は？**

多くの場合、その確率は高くはなく、様々な要因に基づいて年や大学によって異なります。例えば、UCLAの過去3年間のウェイトリストは以下の通りです。

秋入学年度	ウェイトリストに乗った学生	ウェイトリストからの合格者
2021	15,242	214
2022	16,979	3,617
2023	18,329	1,400

同じグラフをスタンフォード大学について見てみましょう。

秋入学年度	ウェイトリストに乗った学生	ウェイトリストからの合格者
2021	652	61
2022	553	8
2023	607	76

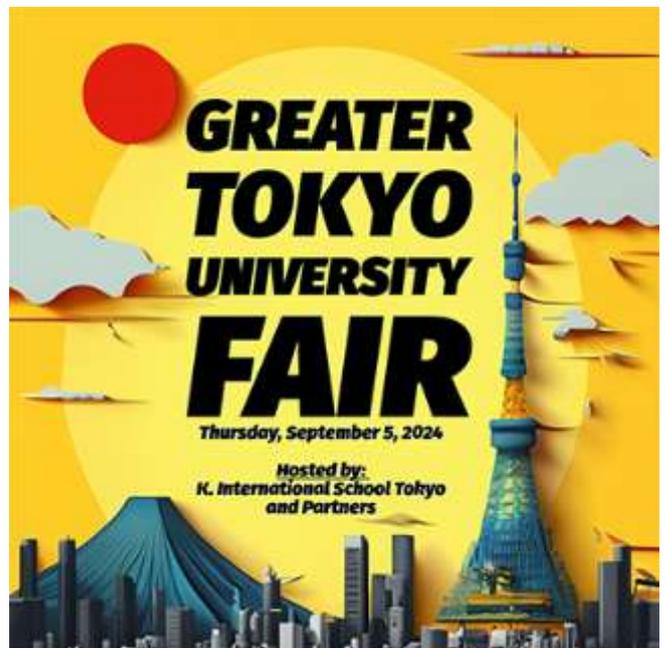
● **ウェイトリストから外れるためにはどうすればよいですか？**

できることはいくつかありますが、そのほとんどは運と大学の多様性ニーズによるものです。元コロンビア大学の入試担当官からのアドバイスを含むこちらの[YouTubeの動画](#)を見ることをお勧めします。彼女のアドバイスは以下の通りです。

1. **大学が求めることをすること**(まだ興味があることを確認する手紙を送るなど)。
2. **ばかげたことはしないこと**(自分の意思を証明するためにプレゼントを送ったり、大学に飛んで会いに行かないこと)。
3. **大学の日本担当者に連絡する**(一度だけ連絡し、他に何ができるか尋ねる)。
4. **次のお気に入りの学校からのオファーを受け入れる**(ウェイトリストからは外れないと仮定する)。
5. **運が一番大きな要素だと理解する**。例えば、日本からの出願者が少ないと感じたり、歴史学専攻の学生が少ない場合(そしてそれがあなたの希望する専攻であった場合)、あなたにもチャンスがあるかもしれません！その大学がすでに多くの日本からの学生を受け入れており、あなたの希望する専攻が非常に人気がある場合、あなたがウェイトリストから外れる可能性は非常に低いかもしれません。

首都圏大学フェア

この度、新校舎が完成しスペースが広がったため、第1回大東京大学フェアを開催することになりました。これまで本校のG11とG12は、Kanto Plain College Fair海外大学フェアに参加するために東京の他校に出かけていました。東京で2つの大きなフェアが開催されることで、大学側と面談する時間が増え、低学年(G9・G10)の生徒が参加する可能性もあると暫定しています。最終的には、より多くの大学に本校を知ってもらうことができ、出願を支援し、一人でも多くの生徒が夢の大学に入学できるよう、本校の目標を継続できることを願っています。他にも10校の高校が来校し、世界各国から100校以上の大学が来校する予定です。詳細は2024-25年度の初めに発表される予定ですが、このイベントが高学年の生徒にとってエキサイティングなものとなり、KISTの生徒であることにまた新たな誇りを感じてくれることを願っています！



Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday,
8:00 a.m.–5:00 p.m.
University Guidance Office (4F
Main Building)



2024年度卒業生



(後列左から) Jia, Kosei, Shakti, Aiden, Haruto, Kaito, Malhar, Ethan, Kiichiro, Rintaro, Han, Lance

(中左から) Kushagra, Arnav, Anant, Shreya, Luer, Amane, Waka, Stephanie, Selin, Muskan, Maya, Diya, Shaunak

(前列左から) Yudai, Remi, Motohiro, Caley, Xinyi, Saki, Neha, Arshiya, Aina, Sadhika, Naoki, Takuma, Shreyas

おめでとう、
皆さんのこれからの
活躍を祈ります！



**K. International School Tokyo
invites you to attend our...**

**Saturday, June 15, 2024
11:00 a.m. - 3:00 p.m.
(Gate opens at 10:40 a.m.)**

New Building Opening Festival

**Free coupons to use for food and games
will be distributed to students at the gate!**



- ▶ **Specialty foods**
- ▶ **Stage performances**
- ▶ **Games and activities**
- ▶ **Costumes welcome!**

Not open to the general public. Images shown are examples only.